

# 本年度補正予算や人事案件など 27案件を可決・承認・同意・報告

## 6月議会定例会



5日間の日程で27の案件を審議し、全会一致で原案通り可決・承認・同意・報告済みとされた6月議会定例会。新型コロナウイルス感染症対策として、議員席に仕切りを設けたほか、傍聴席の定員を40人から15人に削減するなどして開催されました

令和2年第2回町議会定例会が、6月8日から12日までの日程で開催され、新型コロナウイルス感染症対策事業、町斎場の大規模改修のための設計委託などの「令和2年度一般会計補正予算」や「農業委員会委員の任命」など27の案件が、全会一致で原案通り可決・承認・同意・報告済みとされました。今月号では、定例会初日に行われた渡邊町長の行政報告を抜粋して紹介します。

### 町長行政報告

#### 特別定額給付金は 対象者の97%に給付

新型コロナウイルス感染症のまん延防止に向けて、政府では、本年4月7日に東京都など7都府県への緊急事態宣言を発令し、4月16日には本県を含む全都道府県へ緊急事態宣言の区域を拡大しました。

その後、5月14日に本県を含む39県の緊急事態宣言の解除、5月25日の全面解除まで、県外への移動の自粛や休業要請、イベント・行事等の自粛、小中学校等の休校などの対策を行ってきました。その結果、ようやく一つのヤマ場を越えることができましたが、日常の暮らしや企業等における事業活動は依然として厳しい状況が続いています。

町ではこの間、国・県の経済対策に加え、町独自の支援対策を行ってきました。対策の進捗状況はおおむね順調で、国の特別定額給付金は、97%を超える給付率となっており、町独自の臨時子育て世帯応援給付金の支給と全町民への布製マスクの配布は5月末で完了しています。完全なる終息につながるよう、今後も国・県の対策を注視しながら、

町としても町民の皆さまと心を一つにして、この難局を乗り越えていきたいと考えています。

#### 地域になくてはならない 湖東厚生病院

昨年、国から再編・統合を促す病院名の公表があり、その中に湖東厚生病院も含まれていました。

町としては、この地域になくてはならない病院であることから、「地域医療確保に関する国と地方の協議の場」の今後の協議内容や県が開催する地域医療構想調整会議の内容などを適宜に議会へ報告し、協議をお願いしたいと考えています。

#### 広域デマンド型乗合タクシー 4月から試験運行開始

南秋地域公共交通活性化協議会で本年4月から試験運行を行っている、八郎潟町と本町の森山地区と大川地区を一つのエリアとする広域デマンド型乗合タクシーは、運行開始から2か月が経過し、おおむね事業計画とおりの運行状況となっています。

運行は、湖東タクシー有限公司に業務委託し、登録者数は、八郎潟町が202人、森山地区が46人、大川地区が19人となっています。4月の1日当たりの平均利用者数は8・0人、1便当たりの平均利用者数は2・

4人で、利用者の約70%が八郎潟町民となっています。本年10月からは本格運行に切り替える計画としており、利用者などからの意見や要望を反映し、より良い運行体制を目指します。

#### 感染症の影響を受け 広域マイタウンバスの利用者減

昨年10月から運行を行っている南秋地域広域マイタウンバスは、新型コロナウイルス感染症対策の影響などをを受けて高校生の利用が少なく、令和元年度内の6か月間の実績は、当初検討した計画と比較すると利用

者数が3割近く減少しています。今後は、収支率の改善を図るため、便数の削減などによる業務効率化の対策が必要になると考えています。

#### 農委法に基づき 13人を農業委員に選考

本町の農業委員は、本年7月19日で任期が満了します。

このため、農業委員会等に関する法律に基づき、4月1日から5月8日までの期間で農業委員の募集を行い、定数13人に対し13人の応募がありました。候補者は「五城目町農業委員候補

者評価委員会設置要綱」に基づき、5月19日に評価委員会を開催し、法律で定められた項目の「認定農業者が過半数であること」、「中立な立場である者を1名以上とすること」のほか、努力目標の「女性・若者の積極的な登用」、「地域バランス」、「年齢」、「町税等の滞納の有無」等に配慮しながら評価し、選考しました。

#### 前年度一般会計は 黒字決算の見込み

令和元年度一般会計の決算概要は、歳入総額61億7,696万円、歳出総額58億9,717万円、差引

残額2億7,979万円で、繰越明許費のうち一般財源の425万円を差し引くと、実質収支額は2億7,554万円の見込みです。

その他の特別会計も、一般会計と同様に、すべて黒字決算が見込まれます。また、水道事業会計は、事業収益2億1,426万円、事業費用2億1,618万円で、当年度純損失は192万円の見込みとなり、令和元年度の繰越利益剰余金9,028万円を加えると、本年度への繰越額は、8,836万円の見込みとなっています。

## 6月議会定例会で 可決・同意された主な議案

### ◆令和2年度一般会計補正予算

新型コロナウイルスの感染拡大の防止や感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援を通じ、地方創生を図ることを目的とした国からの「地方創生臨時交付金」8,402万円を原資とし、中小企業事業継続支援金の7,200万円、ひとり親家庭等緊急応援給付金・すくすくみらい応援特別誕生祝金の735万円や、臨時子育て世帯応援給付金の260万円などに活用。

また、本年度に大規模改修を行う町斎場の基本設計・実施設計等の業務委託料に2,295万円など、1億2,413万円の増額補正。補正後の累計額は78億1,443万円。

なお、町独自で実施する新型コロナウイルス感染症対策事業は以下のとおりです。

#### ●ひとり親家庭等緊急応援給付金

ひとり親世帯のうち、児童扶養手当受給者に対し、本年2年5月・6月分（定例支給日：7月10日）の児童手当額に一律5万円を上乗せ給付します。

給付対象者には案内通知を送付し、給付金は6月24日に、登録している児童扶養手当の口座に振り込んでいきます。

☎町健康福祉課（☎852・5128）

#### ●臨時子育て世帯応援給付金

令和2年4月27日に町の住民基本台帳に記録されている平成14年4月2日から平成16年4月1日までに生まれた方に対し、1人当たり2万円を給付します。給付対象者には案内通知を送付し、給付金は7月7日頃に振り込む予定です。

☎町新型コロナウイルス感染症対策本部（町総務課緊急支援対策担当 ☎852・5332）

#### ●中小企業事業継続支援金（詳細は4頁に掲載）

#### ●すくすくみらい応援特別誕生祝金（詳細は4頁に掲載）

### ◆農業委員会委員の任命

町農業委員会の委員に、下記の13人を任命することに同意を得ました。

- 小玉 正行さん（68歳・中 村・2期目）
- 草皆 健市さん（67歳・帝釈寺・2期目）
- 澤田石栄一さん（70歳・湯ノ又・2期目）
- 猿田 実さん（69歳・浅見内・新任）
- 佐藤 市夫さん（64歳・谷地中・7期目）
- 一関 勇一さん（68歳・久 保・3期目）
- 館岡 晃さん（63歳・下高崎・2期目）
- 八柳 三郎さん（75歳・大 川・3期目）
- 金子 成敏さん（63歳・上山内・新任）
- 伊藤さくらさん（44歳・高 千・2期目）
- 佐川 誠さん（62歳・野 田・3期目）
- 伊藤 春美さん（56歳・町 村・2期目）
- 竹内 治子さん（48歳・恋 地・2期目）